

## 4355 ロングライフホールディング

遠藤 正一 (エンドウ マサカズ)

ロングライフホールディング株式会社 代表取締役社長

### 在宅介護の顧客増加で売上アップ・有料老人ホームの販売を強化

#### ◆グループ 9 社で事業を展開

当社は 1986 年 9 月に設立し、当期で 28 期を迎えた。グループ体制としては、純粋持株会社である当社のもとに、8 社のグループ会社がある。このうち、ロングライフ・カシータ(株)は出資比率 80%の連結子会社であり、新華錦(シンファージン)グループとの合弁会社は出資比率 34%の関連会社となり、その他は 100%子会社である。

2013 年 10 月期第 2 四半期の連結売上高は 51 億 20 百万円(前年同期比 1.8%増)となっており、増収に伴って売上総利益は 11 億 91 百万円(同 12.5%増)となった。営業利益は 2 億 13 百万円(同 7.3%減)となっており、有料老人ホームの販売強化を目的として集中的に広告宣伝を実施したことが影響した。四半期純利益は 85 百万円(同 22.6%減)となっている。

連結貸借対照表については、「ロングライフ京都嵐山」のオープンにより、有形固定資産が前期末比で 7 億 15 百万円増加し、資産合計が 9 億 75 百万円増加した。キャッシュ・フローにおいては、「ロングライフ京都嵐山」の取得費用(6 億 93 百万円)などにより、投資活動によるキャッシュ・フローが 7 億 36 百万円の支出となっている。

セグメント別の売上構成は、ホーム介護事業が 37.6%、在宅介護事業が 51.2%、福祉用具事業が 9.8%、フード事業が 0.2%、その他が 1.2%となった。エルケア東日本(株)が行っていた福祉用具事業をカシダス(株)に移管したこともあり、福祉用具事業の売上高が大幅に増加している。

#### ◆テレビ CM を 500 本以上放映

ホーム介護事業を行っている日本ロングライフ(株)については、売上高が 19 億 32 百万円(前年同期比 1 億 71 百万円減)となった。兵庫県住宅供給公社からの受託運営が昨年 3 月で契約満了となったことで 3 億 34 百万円減少したものの、有料老人ホームの販売強化でカバーしている。利益面では、広告宣伝費を集中投下したため、販売管理費が増加した。広告宣伝の内容としては、15 秒のテレビ CM を在阪の放送局 4 局で計 500 本以上放映したほか、全国紙の朝・夕刊やラジオ CM、月刊誌等へ広告を掲載している。運営ホームは全国 20 カ所(関西 17 カ所、首都圏 3 カ所)となっており、有料老人ホームおよびグループホームを展開している。2012 年 12 月には、全 50 室の住宅型有料老人ホーム「ロングライフ京都嵐山」をオープンした。

在宅介護事業のエルケア(株)では、大阪府下を中心に、関西エリアで在宅 114 サービスを展開している。中でも訪問介護は 51 サービスとなっている。売上高は 22 億 11 百万円(前年同期比 1 億 84 百万円増)となっている。当期に入って、大阪府下で「デイサービス森小路」、「デイサービス豊中」をオープンした。また、訪問介護、訪問歯科などの拠点を大阪、兵庫、奈良で 7 カ所オープンしている。

在宅介護事業のエルケア東日本(株)については、千葉県を中心に、首都圏エリアで在宅 22 サービスを展開しており、2013 年 5 月 1 日付で(株)日本ビコーより社名を変更した。福祉用具事業をグループ会社のカシダス(株)へ移管したことにより、売上高は 4 億 10 百万円(前年同期比 2 億 47 百万円減)となったが、移管分の売上高 2 億 88 百万円を加味すると、前年同期比で 40 百万円の増収となる。新拠点としては、訪問介護サービスを 2 カ所、訪

問入浴サービスを1カ所オープンした。

福祉用具事業のカシダス(株)については、エルケア東日本(株)からの事業移管により、売上高が5億23百万円(前年同期比3億47百万円増)となった。

### ◆関西エリアに総合在宅サービスセンターをオープン

下期の戦略として、ホーム介護事業においては、引き続きホーム入居率の向上を図る。上期に投下した広告宣伝費の反響に対してクロージングを図り、入居率をアップさせていきたい。また、営業体制の強化として、強化ホームの販売体制を見直し、集中的に資源を投下していく。ホーム運営の強化としては、研修強化によりサービスのレベルアップを図るとともに、ゼネラルマネージャーによる品質チェック管理体制を、さらに向上させていく。

関西エリアの在宅介護事業については、阪神地区へのドミナント出店を進め、質の高い介護サービスを提供すべく、専門性の高い人材を確保・育成していく。なお、神戸の兵庫駅には訪問介護、訪問入浴、居宅支援、訪問歯科に加え、福祉用具の事業所を併設した複合拠点「総合在宅サービスセンター」をオープンする予定である。首都圏エリアの在宅介護事業においては、東京都内に12カ所の事業所を新設する予定である。また、新規開拓エリアにおいて、訪問歯科など介護保険外サービスの拡充を図るとともに、集客型サービスの増設を推進していく。

福祉用具事業については、東京都内、神戸地区において新規開設を加速していく。また、複合拠点「総合在宅サービスセンター」において、在宅介護事業との連携強化を図る。さらに、老人ホームなど施設関係への販売を強化していく。

通期の業績予想については、当初公表通り変更はしていない。売上高は116億円(前期比17.1%増)、営業利益は6億70百万円(同61.2%増)、経常利益は6億円(同59.5%増)、当期純利益は2億80百万円(同27.7%増)を見込んでいる。配当については、1株当たり5円(配当性向19.3%)を予定している。

### ◆ケア・ツーリズムを推進

今後の取り組みとしては、国内外において事業拡大に努めていく。今年4月5日には、ロングライフ・カシータ(株)を設立した。グループで長年培った人材育成の研修ノウハウを活用し、外部企業に対して教育研修事業を展開していく。インドネシア・ジャカルタでは、2月から東京ドーム約2個分の敷地にシニアリビングの開発工事を開始した。施設は、アパートメントタイプの「シニア・ケア」および戸建タイプの「シニア・ビラ」で合計400戸を予定しており、今年中に販売を開始する予定である。

中長期の経営戦略としては、ケア・ツーリズムを推進する。メディカル・ツーリズムは短期・単発のサービスだが、ケア・ツーリズムは継続的なサービスであり、ホテル業界が模索しているが、ケアのノウハウが必要となるため、ホテル業からの参入は難しい。

現在、当社グループでは、関西医科大学附属枚方病院の前院長を顧問に迎え、メディカル・ツーリズムの強化を図っているが、今後はケア・ツーリズムを柱として、有料老人ホームとリゾートホテルを組み合わせた事業を展開し、世界中の高齢者を日本に集めたいと考えている。まずは、実質成長率が8%の中国、7.5%のインドネシアにあるホームをハブ拠点として、東南アジアの富裕層を日本に迎え、日本の高度な医療・福祉、温泉、食べ物、景色を活用した新たな産業を創出していく。

## ◆ 質 疑 応 答 ◆

**「ロングライフ京都嵐山」の入居率を教えてください。**

4 月末の時点で 30%であり、6 月末には 40%に達する見込みである。

**通期業績予想を達成するためには、下期の売上高を 65 億円まで増加させる必要があるが、どの事業が伸びると見ているか。**

有料老人ホームの販売が増加する。前期は 1 年間で 68 室の販売にとどまり、退去分を差し引いた実質的な増加は 1 ケタであったが、当期は上期の段階で 53 室となった。通期では 120 室程度の販売を見込んでいる。

**青島の入居率は 12 月時点で 25%となっていたが、現在はどの程度か。**

30%となっている。

**ロングライフ・カシータ(株)の業績見通しを教えてください。**

当期は売上高 20 百万円を計画している。

**エルケア(株)の稼働率を教えてください。**

訪問入浴については、入浴車 1 台当たりの利用者数が 1 日平均 7 名となっており、デイサービス等の施設については、定員に対して平均稼働率が 80~90%となっている。売上高の 50%以上を占める訪問介護については、登録ヘルパーが多く、指標にはならないため、稼働率は算出していない。

**介護保険外のビジネスとしては、どのようなものが考えられるか。**

現在、介護保険外の収入がグループ全体の 40%程度となっている。業界では珍しい介護保険報酬に依存しないビジネスモデルであり、今後、大きな強みになると考えている。介護保険外のビジネスとしては、在宅介護事業の訪問歯科サービス、ホーム介護事業では中国の有料老人ホーム、インドネシアのシニアリビングを展開しているが、今後は石垣島、箱根、軽井沢、北海道などにリゾートホテル的な施設を展開する構想もあり、他の介護業者と異なる切り口でビジネスを模索していく。

**リゾートホテルと老人のケアは、どのように結び付くのか。**

10 年後には団塊の世代が 70 代の後半になるため、サポートが必要な状況になっても、旅行が楽しめる環境を作っていきたい。従来のリゾートホテルでは介護に関する技術やノウハウがなく、高齢者への対応が難しいため、ケア・ツーリズムは新たなビジネスとして成立すると考えている。

(平成 25 年 6 月 21 日・東京)

\* 当日の説明会資料は以下の HP アドレスから見ることができます。

[http://www.longlife-holding.co.jp/ir/other\\_reports.html](http://www.longlife-holding.co.jp/ir/other_reports.html)